

目次

気球搭載望遠鏡と遠赤外分光観測	芝井 広	112
天文学最前線.....小惑星帯の運動学的構造・ブラックホール連星候補 A0620-00		118
日本天文学会 1989年春季年会プログラム		119
~~~~~		
雑 報.....オーロラを見ましたか? .....		117
.....1988年度「経緯度研究会」報告 .....		132
名簿発行後の入会者 .....		131
お知らせ .....		133
5月の天文暦 .....		133
近世日本天文学(暦学)人物伝(5) 渋川景佑 .....		134

—表紙説明—

米国テキサス州パレスティン気球基地における放球風景。放球台車から観測装置が放たれた直後。写真のように気球観測装置は全長 100 m から 200 m にも達する。上から約3分の2は気球本体で内部にはヘリウムガスが充填されている。上昇して気圧が減少するにつれて膨張し、予定した定常高度 (25~40 km) に達すると巨大な「逆水滴型」になる。最下部には気球搭載観測装置が吊り下げられている。気球本体と観測装置の間には、観測装置を回収するためのパラシュートがある。定常的に運用されている気球基地は、宇宙科学研究所の三陸大気球観測所も含め世界に数カ所ある。

(右上) 代表的な星生成領域であるオメガ星雲 (M17) とその周辺の [CII] 強度分布を疑似カラーで表示したもの。 (p. 112 芝井氏記事参照)

地人書館の天文書●好評発売中

ヒデミの天文教室

—お星さまのこと知ってる?—

鈴木敬信・内藤英美著 ¥1545 (〒260)

身近かな星空の話から大宇宙の構造まで、とくに興味深い天文学のトピックを、初歩の天文ファンに語りかける。「月刊天文」に連載の「ヒデミの天文対談」の単行本化。

シュレーディングの猫(上)

J.グリビン著 山崎和夫訳 ★¥2000 (〒260)

量子論は実用的なものである。しかし、それにはある種の奇妙さがつきまとい、アインシュタインでさえ、それを不可解なものとしてその解釈を認めなかった。

アインシュタイン「神話」

—大衆化する天才のイメージと芸術の反乱—

フリードマン他著 沢田整訳 ★¥2500 (〒310)

アインシュタインは、科学の世界を超えた広い範囲で論じられる科学者である。本書では彼の相対論・量子論が現代の芸術、とくに文学に与えた影響について語る。

特殊相対性理論 —新しい視点から

W.リンドラー著 小沢・熊野訳 ★¥2600 (〒310)

特殊相対性理論の基礎から相対論的運動学や光学、時空など説明、付録でテンソル理論の要点を解説した。各章に演習問題を多くのせており、教科書としても最適。

(★印の定価は税抜き)

〒162 東京都新宿区中町15 振替東京6-1532 ☎(235)4422

天文博物館

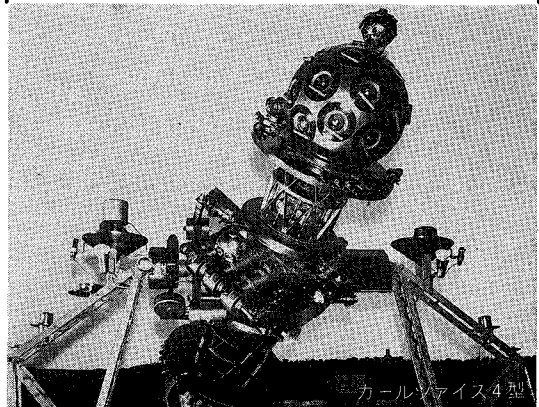
五島プラネタリウム

東京・渋谷・東急文化会館 8階  
電話 (407) 7131, 7409

- ☆ 5月 増えてきた太陽黒点
- ☆ 6月 夜空の星時計

投影時間	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回
平日	10.00	11.10	1.30	3.00	4.30	6.00
土日・祝日	10.30	12.00	1.30	3.00	4.30	6.00

- 平日 10.00 の回は団体に限ります。
- 休館日 毎週月曜日 (祝日のときは翌日休館)
- 料金 大人 600円・小、中学生 300円・幼児 (4才以上) 200円



カールツェイス4型